



## RESOLUTION No. 30) PENSIONS ACT TO PRESERVE, CONSOLIDATE AND IMPROVE OUR COLLECTIVE SOCIAL PROTECTION SYSTEMS

### 第30号決議) 年金：集団的社会保護制度を維持、統合、改善するための行動

第29回国際公務労連（PSI）世界大会  
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

以下に留意する：

ウィーンで開かれた前PSI世界大会以来、友愛、平等性、自由の奨励に欠かせない手段である社会保護制度が、常に非難の対象となり、多くの国で解体されてきたことは明確である。

この状況を踏まえ、われわれ労働組合はPSIと共に、

政府が、集団的な年金構想は国家財政の垂れ流しであり、限界に近づいたと熱心に主張し続けていることを懸念する。政府は公共サービスと公共部門の年金構想および配分を迷わず疑問視している。

われわれが現在経験している金融危機と経済活動の減速が、公共部門労働者に大きな打撃となっており、相対的な業績の低下に悩む積み立て方式の年金構想のもろさを示していることを確認する。そのいくつかは、破たんした。これはとくにイギリス、オランダ、アメリカの多くの労働者に当てはまるケースである。

年金の掛け金の支払い期間を長くし、退職年齢を引き伸ばし、家族手当を撤廃し、とくに年金水準を下げることで、労働者と年金受給者の利益を害する政府の一方的な措置は、世界のいかなる場所においても拒否する。

これらの政策は社会的に容認できず、経済的にも効果がないことを断言する。

こうした措置の結果、高齢者の失業が大幅に増加し、貧しい受給者が激増し、若者の雇用も創出されない状況を拒否する。

この厳しい現実を踏まえ、そして年金に関する具体的な作業部会発足に加え、PSIと加盟組合は、社会の不正を助長し、次第に公共サービスを消滅させる緊縮政策を覆すよう、政府に圧力をかける大規模な対応を組織する。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#) を参照のこと